
スマ・スマ逃走中

スライムマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマ・スマ逃走中

【Nコード】

N1330V

【作者名】

スライムマン

【あらすじ】

スマッシュブラザーズの逃走中

SMAP×SMAPとは何の関係もありません

エリア紹介& a m p; 逃走キャラ紹介（前書き）

はじめての作品です。

よろしく願います。

エリア紹介& a m p; 逃走キャラ紹介

今回の舞台はスターガーデン 星の民が住む幻想的な世界

—	?
—	スターキャッスル
—	村エリア
—	?
—	城エリア
—	?
—	市場
—	?
—	スター遊園地
—	町エリア
—	?
—	?
—	牢獄

エリアは4つに分かれており広さはおよそ東京ドーム5個分

自首が出来る電話ボックス各エリアごとに一つずつある

キャラ紹介

マリオ

ミスター任天堂 一応主人公

ピーチに片思いしている

ルイージ

永遠の2番手という不名誉な称号を持っている。

とても怖がりで恥ずかしがりや

ピーチ

毎日のように連れ去られては助けられるという忙しいきのこ王国のお姫様

怒ると怖い

クッパ

マリオの宿敵

実はこいつもピーチに片思いしている

ヨッシー

マリオの相棒として活躍した

しかし最近はお番が減ったので不満をもっている

ワリオ

マリオのライバル

実はゲーム会社の社長

ドンキーコング

ジャングルの王者

バナナが大好き

ディディコング

ドンキーの弟分

もちろんバナナずき

リンク

ハイラルの勇者

緑がかぶるのでルイーージを敵対している

ゼルダ

ハイラルのお姫様

リンクに片思いしている

ガノンドロフ

リンクの宿敵

顔が怖いのでみんなからは嫌われている

トゥーンリンク

猫目のリンク

足は結構早い

フォックス

スターフォックスのリーダー

正義感が強い

ファルコ

スターフォックスの一員

もとは暴走族だった

ウルフ

スターウルフのリーダー

ファルコとは仲が悪い

ピカチュウ

ポケモン界のスター

誰からも愛されている

レッド

カントウ地方出身のポケモントレーナー

ゼニガメ リザードン フシギソウの持ち主

ルカリオ

波動が使える

しかし逃走中では波動は使えない

プリン

ピンク玉一号

とても軽い

カービィ

ププランドの住人

ピンク玉2号

デデデ

ププランドの大王

ほとんどのことは部下に任せているダメ大王

メタナイト

カービィのライバル

逃走中では翼は使えない

ネス

心の力P S Iを使えるエスパー少年

とても積極的

リユカ

こちらもP S Iが使える

ネスに憧れている

マルス

アリティア王国の王子

足が三番目に早い

アイク

蒼鉛の奇跡の主人公

意外と大食い

ポポ

アイスクライマーの一人

青い防寒具を着ている

ナナ

アイスクライマーの一人

ピンクの防寒具を着ている

ピット

パルテナ親衛隊長

翼はあるが飛べない

オリマー

ホコタテ運送のドライバー

いつもピクミンに囲まれている

ロボット

ファミリーコンピュータのロボット

作者はこいつのことだけは全くわからない

ミスターゲームアンドウォッチ

しゃべる言葉が全部カタコト

足は意外と早い

サムス

フリーのバウンティ・ハンター

今回はゼロスーツで参加する

キャプテンファルコン

ムキムキナレーサー

足は2番目に早い

スネーク

メタルギアソリッドの主人公

ダンボールに隠れるのが好き

ソニック

青色のハリネズミ

参加者の中で一番足が速い

ロイ

ファイアーエムブレム一封印の剣の主人公

アイクが出たためリストラされてしまった

ドクターマリオ

8年後のマリオ

頭がいい

ミュウツー

エスパー技が得意なポケモン

ルカリオが出たためリストラされてしまった

ピチュー

ピカチュウの弟

体が小さいので隠れやすい

子供リンク

8年前のリンク

ロンロン牛乳が大好き

エリア紹介&mp;逃走キャラ紹介（後書き）

キャラ紹介だけでこんなに大変だなんて!!

オープニングゲーム（前書き）

少し間が空いてしまいました。

すいません

オープニングゲーム

とある王国スターガーデンに集められた41人の逃走者たち
これからオープニングが始まるようだ

突然スピーカーから不気味な声が聞こえてきた

「これよりゲームを始める」

マリオ「ついに始まるのか」

ドンキー「絶対逃げ切ってやる!!!!」

カービィ「怖いな~」

「君たちの目の前にあるボックスには4体のハンターが閉じ込められている」

「君たち逃走者は今から一人ずつ前に出て鎖を引かなければならぬ
いい」

「色分けされた鎖は全部で41本ある そのうち一つははずれでハンターが解放されゲームがスタートする」

ちなみに鎖を引く順番はにくじで決められた

トウーン「うわっ1番だ」

ルイージ「僕は36番か 兄さんは何番だった？」

マリオ「3番だ 絶対回ってくる」

ネス「やった41番だ」

レッド「いいなあ俺は2番なのに」

まずは1番手トゥーンことトゥーンリンクだ

トゥーン「えっと紫引きます」

カービィ「なんでー」

トゥーン「好きな色だから」

トゥーン「じゃあ引きます!!」

セーフかハンター放出か？

ガコンッ

セーフだ

トゥーン「じゃっ後はよろしく」

ちなみにセーフだったら自分の好きな場所から始められる

ポポ「いいなあー」

ファルコン「あーはやくこの緊張から逃れたい」

意外と怖がりのようだ

レッド「次は俺か」

リュカ「なに引くー」

レッド「もちろん俺の色レッドだ！！」

レッド「じゃあ引くぞ！」

セーフかハンター放出か？

ガコンッ

セーフだ

レッド「やっぱり緊張するな」

次に3番手のマリオがゼブラ色を引きクリア

4番手のワリオが金色を引きクリア

5番手のナナがピンクを引きクリア

6番手のマルスが銀色を引きクリア

そして7番手のリンク

カービー「なに引く―」

リンク「もちろん緑です。」

ルイージ「ちょっと待って緑は僕だよ―」

リンク「うるさい あなたは引っ込んでてください」

ルイージ「……」

リンク「じゃあ引きますよ」

セーフかハンター放出か？

ガシャンッ

ハンター放出だ

全員「うそだー！ー！ー」

全員が一斉に逃げ出す。

ハンターがねらいをつけたのは

リンク「ウソだろ！」

リンクのようだ

ハンターとの差がだんだんせまってくる

ポンッ

リンク確保

残り40人

リンク「最悪だ」

プルプルプル

メールだ

マリオ「リンク確保か まっ仕方ないよな」

ネス「はあはあ まさかリンクさんが引くなんて」

波乱の中ゲームがスタートした。

オープニングゲーム（後書き）

まさかのリンク確保

逃走者は逃げ切れるのか？

ミッション ハンターを封印せよ1-1 (前書き)

やっと書けました。
ふうー疲れた・・

ミッション ハンターを封印せよ1ー1

アイク「うおもうこんなに賞金が上がってやがる」

賞金は1秒に200円ずつ上がっている
300分逃げ切ったら360万円手に入るということだ

デデデ「ハンターいるぞい」

近くにハンターを見つけたデデデ

プルプルプル

その時携帯がなった

デデデ「しまったきずかれたぞい」

携帯の音でハンターに見つかってしまった

スマブラメンバーの中でも鈍足のデデデ

デデデ「もうだめぞい」

ポンッ

デデデ確保
残り39人

デデデ「くうー携帯さえなければ」

カービィ「あれっ大王でないな」

携帯かけた犯人発覚

プルプルプル

マリオ「あれっまたメールだ」

ソニック「デデデ確保 残り39人」

カービィ「あれっ大王つかまってる なんぞ?」

プルプルプル

また携帯がなった

ネス「わっミッションだ」

ロイ「なにになに　スターキャッスル前にハンターボックスが3個出現した」

クッパ「残り時間275分になるとボックスが解放されハンターが3体増える　なんだと!」

マルス「阻止するには市場に売っている封印の玉を3つハンターボックスにいれなければいけない」

ピーチ「封印の玉は自首用のコインで買わなければならない　急ぎたまえ」

ミッション

スターキャッスル前にハンターボックスが3個出現した
残り275分とボックスが開きハンターが解放される

阻止するには市場で売っている封印の玉をボックスにはめなければならない

ちなみに玉を買うには自首用のコインが必要になる

マリオ「玉を買うと自首ができなくなるのか　まあ自首する気ない

しやるか!!」

ネス「よし! 行こう」

ワリオ「自首ができなくなるが金のためだ　　いってやる!!」

どうやらミッションに挑むのはマリオ・ネス・ワリオの3人のようだ
はたしてミッションは成功するのか!!

ミッション ハンターを封印せよ1-2 (前書き)

今日も投稿です。

ミッション ハンターを封印せよ1―2

ネス「えっと市場ってどこだっけ？」

ネス「今僕がいるのは遊園地エリアだから　ここか」

ネス「よし！行くぞ」

市場に向かうネス　その近くにはハンターが

ネス「うわぁハンター」

ハンターは気付いてないようだ

ネス「危なかった　慎重に行かないと」

ミッションには危険がつきものだ

ガノン「ミッション　そんなもののほかの奴がいくだろ」

ミッションに全く興味がないガノン

その近くにハンター

ガノン「うわっハンター」

ハンターに気付かれたようだ

ガノン「おっあれはピチュウ」

ガノン逃げる先にはピチュウが

ピチュウ「えっガノン ハッハンター」

ガノンがピチュウをぬかした

ピチュウ「うわぁ」

ポンッ

ピチュウ確保

残り38人

ピチュウ「そんなぁ」

ガノン「ふう危なかったぜ♪」

プルプルプル

ピカチュウ「えっピチュウ確保 そんなピチュウが」

ゼルダ「次々に捕まっていくわね」

マリオ「よしっ着いたぞ」

どうやら市場へ着いたようだ

マリオ「おっあれかな？」

マリオの目の前には水晶のようにすきとおった緑色の玉が3つ並んでいた

マリオ「この玉くださーい」

ノコノコ緑「おっお客さん　お目がいいねえ」

ノコノコ赤「この玉は昔この国に現れたドラゴンを封じ込めた玉だよ」

マリオ「じゃこれで」

マリオはコインを渡した

ノコノコ赤「なんだか知らないけど　がんばるんだよね」

マリオ「後はこれをはめるだけか」

ネス「あれっマリオ」

マリオ「おうネスか、玉はあそこに売ってるぞ」

ネス「ありがとう!」

マリオ「ここをまっすぐ行けばスターキャッスルか」

そういうと走り去った

残り時間 286分

ミッション終了まで残りあと、11分

ミッション ハンターを封印せよ1—3

マリオ「ここか・・・」

スターキャッスルについたマリオ

マリオ「このくぼみにはめるのか？」

ガチャッ

シュンッ

マリオ「きつ消えたぞ!!」

3つのうち1つのハンターボックスが消えた

数分後、ネスが遅れてやってきた

ネス「ここでいいんだよね？」

マリオ「ああ」

ネスはくぼみに玉を入れた

ガチャッ

シュンッ

ネス「あと1つか・誰か来ないかな」

マリオ「じゃあ俺は行くぞ」

ネス「あつ待って僕も!!」

ワリオ「ここはどこだ?？」

いまだに自分がある場所がわからないらしい

ワリオ「いかん! だんだん時間が無くなってくる」

するとそこへネスが通りかかった

ネス「あつワリオ もしかしてミッション行く気?」

ワリオ「ああ、だが場所がわからん・・・」

ネス「ここは町エリアだから市場はすぐそこだよ」

ワリオ「えっそうなのか きずかなかった」

子供にも分かったことがわからないとは・・・

ワリオ「よし！そうと分かったら出発だあ」

そういうとワリオは走り去った

ネス「逆なんだけど・・・」

どうやら逆の方向へいったらしい

ワリオ「市場なんか見当たらんぞ」

ワリオ「んっここさっき通ったぞ？」

ワリオ「しまった逆だったああ」

ようやくきずいたようだ

リュカ「みんなミッションいってるかなあ」

人任せのリュカ

リュカ「あっもうこんなに賞金が、」

リュカ「自首しようかなあ」

自首を考えるリュカ

その近くにハンター

リュカ「うわっハンター」

ハンターに気付かれたようだ

距離が近かった為にハンターとの差せまってくる

リュカ「うわあああ」

ポンッ

リュカ確保 残り38人

リュカ「自首してればよかった」

プルプルプルプル

スネーク「なになにリュカ確保か」

ネス「リュカ・・・」

その頃ワリオは走っていた

ワリオ「市場あああああ」

市場に向かうワリオ

はたして間に合うか??

残り時間280分

ミッション終了まで残り5分

ミッション ハンターを封印せよ1—4

ワリオ「ハアハア、やっと着いた・・・」

ようやく市場へ到着したようだ

ワリオ「よし買ったぞ」

ワリオ「後はこれをはめに行くだけだな」

はたして間に合うのか？

その頃牢獄では・・・

リンク「まさか最初に捕まるなんて・・・」

最初に捕まったことをまだ落ち込んでいるようだ・

ピチュウ「過ぎたことは忘れよ ほら元気出して」

リンク「ああすまない・・・」

リンクのまわりには負のオーラが漂っている

デデデ「ふう、しょうがないぞいな・・・」

リンクを慰めるのに必死のようだ・・・

ワリオ「やばい！時間がない」

ミッション終了まで残り1分

ボックスまで残り100メートル

ワリオ「着いたぞ!!」

ワリオ「ここだな おりゃあ」

ガシヤツ

シュン

ワリオ「間に合ったか・・・」

プルプルプル

メタナイト「ミッション1結果」

ロイ「マリオ、ネス、ワリオの活躍によりミッションクリア やったぜ!!」

カービィ「すごーい!!」

マリオ「やっぱミッションやってよかったな・・・」

ネス「ワリオ間に合ったんだ!」

ルイージ「さすが兄さんだよ」

そう吹くルイージの近くにハンター

ルイージ「うわっハンター」

ハンターにきづかれた

ルイージ「そんなあああ」

ポンッ

ルイージ確保
残り37人

ルイージ「そんなあ早すぎるよ・・・」

ブルブルブル

ロイ「なんだよ　またメールか？」

マリオ「なにっルイージ確保だど！」

マリオ「あいつ捕まりやがった・・・」

プリン「はあここの景色はきれいプリ」

ずっと景色を見ていたようだ

プリン「あれってハンターだよね？」

前方にハンターを発見した

プリン「誰か追ってるプリ」

その頃、

アイク「くそっまだ追ってきやがる・・・」

プリンがみたハンターはアイクを追っていたようだ

アイク「こんな簡単に捕まってたまるかよ！」

そういうとアイクはせまい路地裏に逃げ込んだ

アイク「もう付いてきてないよな？」

どうやらまいたらしい

アイク「はあ一生分の体力つかったぜ」

そういうとアイクは壁に寄り掛かった

残り時間 262分

残り 37人

ミッション ハンターを封印せよ1ー4 (後書き)

次回、逃走者に過酷なミッションが襲う!!

ミッション 監視カメラを破壊せよ2-1 (前書き)

目指せ一日一回投稿!!

ミッション 監視カメラを破壊せよ2-1

逃走者がミッションに苦しめられている時、スターキャッスルではある事件が起きていた

大臣「王様大変です！あのダークスター軍団が国民に紛れ込んでいるという情報が入りました！」

星の王「なにっそれは本当か！」

星の王「このままだとこの国の情報が奪われてしまうぞ！」

大臣「安心してください王様、手はもう打っております」

星の王「ほうそれは信用できるのか？」

大臣「この国全体に監視カメラをしかけました」

大臣「怪しいものがいればすぐに捕まえます！」

星の王「それなら安心だ、この件お主に任せるぞ」

大臣「お任せください王様！」

プルプルプル

ヨッシー「メールです！」

ファルコ「またミッションか」

ドクター「なになに、この国全体に監視カメラが30個仕掛けられた」

サムス「逃走者が監視カメラに見つかりとハンターに場所を知らされる」

ピカチュウ「阻止するには監視カメラの電源コードをペンチで切らなければならない」

スネーク「ちなみにペンチは遊園地広場の工具室にある」

ミッション2

この国全体に監視カメラが30個仕掛けられた

逃走者が監視カメラに映るとハンターに場所を知らされてしまう

阻止するには監視カメラの電源コードをペンチで切らなければならない

ペンチは遊園地エリアの工具室にある

ちなみに監視カメラはゲーム終了まで残る

クッパ「ウソだろ30個とか・・・」

ピーチ「逃げにくくなるわね」

ピカチュウ「ゲームが終わるまで見張られてるなんてやだ！絶対行く」

ポポ「これは行かないと！」

マリオ「よし、もう一回がんばるか！」

どうやら逃走者の半分がミッションに向かうようだ

ガノン「ミッション行っても捕まっちゃ意味がないからな」

ミッションに全く関心がないガノン

ガノン「今回もみんなに任せるか」

任せっぱなしだ

ピット「あれだよね監視カメラって」

前方に監視カメラを発見したピット

ピット「ペンチがなきゃ切れないからな」

そう吹くピットの姿を監視カメラがとらえた

1体のハンターがピット狙いにやってきた

ピット「うわっハンター」

ピット「ハンター速い!!」

足は速いほうだが距離が近かったためハンターとの差がせまってくる

ピット「うわぁ!」

ポンッ

ピット確保
残り36人

ピット「もうちょっと残りたかった・・・」

プルプルプル

ドクター「ピット確保」

マリオ「ピット捕まっちゃったか」

ゼルダ「監視カメラのせいね」

ポポ「到着！」

1番のりはポポのようだ

ポポ「えっとペンチ、ペンチ」

ポポ「あつたこれだ！」

大きい工具箱の中にペンチがたくさん入っていた

ポポ「よしどんどん切るぞ」

マリオ「ここだな」

トゥーン「やっと着いた・・・」

ヨッシー「ここですね」

マリオに続きたくさんの逃走者がペンチを手に入れた

はたしてミッションは成功するのか？

残り時間 255分

監視カメラ 30個

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—1（後書き）

ふう
疲れた

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—2（前書き）

ちよつと遅れました

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—2

ポポ「あった！」

1つ目の監視カメラを発見したポポ

ポポ「慎重に慎重に」

抜き足差し足する姿はまるで泥棒のようだ

ブチッ

監視カメラ

30↓29

ポポ「危ない危ない」

ポポ「まだまだたくさんあるから急がないと！」

ヨッシー「見つけた、見つけた!!」

ヨッシー「えっとペンチ、ペンチ あれっないな？」

ペンチが見つからないようだ

ヨッシー「ここに入れたはずなんだけど？」

ウィーン

あわてるヨッシーの姿を監視カメラがとらえた

1体のハンターがヨッシーへと向かった

ヨッシー「あったこれだ！」

しかしハンターがヨッシーを見つけた

ヨッシー「うわっハンター」

ヨッシー「とつとりあえずこれ切らないと！」

ブチッ

29↓28

ヨッシー「ああもうだめだ」

ポンッ

ヨッシー確保

残り35人

ヨッシー「まあやれることはやったしいいか」

良いのだろうか？

プルプルプル

ゲムオ「ヨッシーサンカクホ」

ミュウツー「どんどん捕まっていくな」

牢獄タイム

リュカ「ヨッシーさん確保」

デデデ「緑恐竜もとうとう捕まったゾイカ」

ピット「ねえデデデ、リンクさんがまだ落ち込んでいるんだけど、どうしたらいい？」

デデデ「ほっとけばいいゾイ」

デデデ「いずれは戻るゾイからな」

リンク「・・・・・・・・・・」

ネス「ここだよね？ 工具室って」

ネス「うーん1人でいくのは大変だし誰かよぼうかな？」

ネス「とりあえずあの人を呼ぼう」

プルプルプル

レッド「うわっ電話だ！」

レッド「ネス　なんか用か？」

ネス「ミッション行かない？僕と一緒に」

レッド「うーんミッションか・・・」

レッド「分かった行こう！今どこにいる？」

ネス「遊園地の工具室の前、待ってるよ！」

ブチッ

レッド「一方的に切られた・・・」

レッド「とりあえず行くか」

そういうとレッドは遊園地へ向かった

ポポ「2個目発見！」

ポポ「うわっここ2個もある」

ポポ「さっきより慎重に慎重に」

ブチッ

28↓27

ブチッ

27↓26

ポポ「もっと切るぞ！」

マリオ「あったあれだな」

カメラを見つけたようだ

マリオ「あっち向いてるすきに・・・」

ブチッ

26↓25

マリオ「おっあそこにも！」

マリオ「よし早速切るか」

ウーーン

しかしその姿を監視カメラがとらえた

ブチッ

25↓24

マリオ「ハンター！」

ハンターに見つかってしまった・・・

マリオ「しまった、監視カメラに映ったのか！」

マリオ「畜生捕まるかよ！！！！」

ハンター「・・・・・・・・」

なんとか撒いたようだ

マリオ「いつ捕まってもおかしくないな・・・」

心を落ち着かせることが命取り

それが逃走中

残り時間 250分

監視カメラ残り 24個

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—3

ネス「あっ来た、来た レッドここだよ!!」

ネスは走ってきたレッドに手を振った

どうやら合流したらしい

ネス「遅いよお もうちょつと早く来てよ」

レッド「はあはあ 俺の苦勞も知らないで・・・」

・ ネスと合流する前レッドは1体のハンターに追いかけていた・

レッド「まだ追ってきてるのかよ!」

1体のハンターがレッドを追いかけていた

レッド「無駄に速い俺の足をなめんなよ!!」

そう叫ぶとスピードを上げた

ハンター「……………」

なんとか逃げ切れたようだ

レッド「危ない、危ない　今は本気でやばかった」

無駄に速い足のおかげだ

レッド「そういえばネスと約束してたな」

レッド「急がないとな!」

そして今に至る

レッド「とりあえずミッションやろうぜ」

ネス「うん」

ネス「ペンチどこにあるんだろ？」

レッド「先に来てたなら探しとけよ」

ネス「そんなこと言われても・・・」

ちなみにペンチは今探している逆の場所にあったりする

ネス「やっと見つけた」

ようやく見つけたようだ

レッド「よし！急いで行くぞ！」

ネス「うん」

その頃

ポポ「4個目発見♪」

ブチッ

2 4 ↓ 2 3

ポポ「慣れてくると簡単だ♪」

マリオ「あった！」

ブチッ

2 3 ↓ 2 2

マリオ「まだこんなにあるのかよ・・・」

トゥーン「あっマリオ」

マリオ「おうトゥーンか」

トゥーンと合流したマリオ

トゥーン「監視カメラが見つからないんだけど」

マリオ「探してみると割とあるぞ」

トゥーン「そうかなあ」

トゥーン「じゃっまた探してくるよ」

マリオ「ハンターに見つかるなよ」

トゥーン「うん」

そういうとトゥーンは走り出した

トウーン「たくさんあっても見つからなくちな・・」

そう言うトウーンの近くに黒い影が

トウーン「うわあああ」

ゲムオ「ナンデスカトウーンサン」

どの逃走中にもあるシーン

トウーン「なんだゲムオかあびつくりした」

ゲムオ「ビックリシタノハコツチデスヨ」

2人の近くに本物のハンターが

トウーン「うわっ今度はハンターだ!!」

ゲムオ「ハンターデス!!」

ハンターが狙いをつけたのは

トウーン「こっち来てる!!!!」

トウーンだ

トウーン「もうダメ・・・」

ポンッ

トウーン確保

残り34人

プルプルプル

フォックス「トウーン確保！」

マリオ「気をつけろって言ったのに・・・」

ソニック「まだ1時間ぐらいしか経ってないぞ」

ポポ「また発見」

ブチッ

22↓21

ポポ「僕が一番たくさん切ってるよね♪」

調子に乗るポポ

しかしその油断こそが捕まる原因

レッド「やっと1個目見つけたぜ」

ネス「なかなか無いものだね」

ブチッ

21↓20

監視カメラも残り20個

ミッション成功なるか・・・

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—3（後書き）

本気と書いてマジって読みます

ミッション 監視カメラを破壊せよ2-4 (前書き)

疲れた・・・

ミッション 監視カメラを破壊せよ2-4

??? 「このままだとすぐに全滅してしまうかもしれない・・・」

???? 「確かにそうだな」

??? 「ミッションの途中だがチャンスを与えてやろう」

???? 「そうするか・・・」

プルプルプル

ファルコ 「またメールか」

スネーク 「なになに逃走者にチャンスを与える？」

クッパ 「この国に5個の宝箱が出現した」

ウルフ 「その中には君たちに役に立つものが入っている」

通告

この国に宝箱が5個出現した

その中には君たちに役に立つものが入っている

しかしその宝箱は残り205分になると自動的に消えてしまう

カービー「やったあ!!」

ウルフ「何が入ってるんだ？」

欲望が高まる逃走者たち

スネーク「むう宝箱か・・・」

ゲームが始まってからずっと段ボールに隠れているスネーク
なぜ捕まらないんだろうか？

スネーク「探しに行くか」

ゴツッ

スネークの足に何かが当たった

スネーク「こっこれ宝箱じゃねえか！」

なんと隠れていた場所の目の前に宝箱があった

スネーク「ついてるな俺、中身はなんだ？」

開けると中には小さなハンド銃と説明書が入っていた

スネーク「なるほどこれは睡眠弾が出るのか」

ハンドガンは催眠銃というらしい

スネーク「玉は全部で5つか、慎重に使わないとな」

マリオ「宝箱はほしいが今はミッションを急がないと」

マリオの目の前には監視カメラがあった

ブチッ

20↓19

マリオ「あと何個ぐらいだ？」

ネス「あった、あった」

ブチッ

19↓18

レッド「これで2個目だな」

ネス「まだまだ切らないと」

サムス「着いた、工具室」

子リン「着いた！」

同時についたようだ

サムス「あら子リンじゃない」

子リン「サムスさん！」

子リン「ペンチはこれだな」

子リン「はいサムスさん」

サムス「ありがとう」

子リン「じゃ僕先にいってますね」

サムス&子リン ペンチ獲得

その頃

ポポ「あれえ無いなあ？」

監視カメラが見つからないポポ

ポポ「さっきまではたくさんあったのに」

ウィーン

ポポがいる死角にあった監視カメラがポポの姿をとらえた

ポポ「あっこんなところに！！！」

ポポ「てことはもしかして・・・」

ハンターがポポを見つけた

ポポ「やっぱり映っちゃったんだ！！！」

ハンターが迫ってくる

ポポ「嫌だあああ!!」

ポンッ

ポポ確保

残り33人

ポポ「ううひどい・・・」

少しの油断が命取りだ・・

プルプルプル

ナナ「えっポポ確保」

ウルフ「カメラのせいかな」

ネス「あちやあポポ捕まっちゃったんだ・・・」

レッド「気をつけないとな・・・」

逃走者のチャンスの宝箱

逃走者に危険な監視カメラ

先に無くなるのは???

監視カメラ

残り18個

宝箱

残り4個

残り時間

225分

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—5

ワリオ「宝箱はどこだ？」

宝と付くものは命がけで探すワリオ

ワリオ「ああ見つからん！！」

血管が見えるほどイライラしている

しかしその頃

ウルフ「宝箱発見！！！」

ウルフが宝箱を発見していた

ウルフ「中身は何だ？」

開けると丸いボールのようなもの3つ入っていた

ウルフ「ふむふむハンター撃退ボールか」

玉はハンター撃退ボールと言って当てるとハンターがいやがる匂いが出るらしい

ウルフ「これならハンターが来ても安心だ」

宝箱残り3個

ネス「あった！」

ブチッ

18↓17

レッド「慣れてきたな」

ネス「この調子のままいけたらいいんだけど」

サムス「やっと見つけたわ」

ブチッ

17↓16

サムス「もっと切らなきゃ」

ガノン「ミッションはまだ終わらないのか？」

逃走者がミッションに励んでいるのにもかからわずベンチでアンパンを食べているガノン

アンパンは自ら持ってきたらしい

ガノン「腹が減ったら戦は出来ぬって言うしな」

ガノン「うんうまい!!」

カービィ「いいなあアンパン・・・」

近くの草むらの中からガノンを見ていたカービィ

カービィ「僕もなんか持ってくればよかった」

よだれをだらだら垂らしている

その頃、

マリオ「見つけたぞ」

ブチッ

16↓15

マリオ「後少しだ、頑張るぞ!!」

子リン「あれかな監視カメラは」

ブチッ

15↓14

子リン「意外と簡単だね」

サムス「また見つけた！」

ブチッ

14↓13

サムス「もう1個あった」

ブチッ

13↓12

サムス「たくさんあるものね」

次々に切られる監視カメラ

ミッションは成功するのか

監視カメラ

残り12個

宝箱

残り3個

ミッション 監視カメラを破壊せよ2－5（後書き）

ちよつと少なめ

ミッション 監視カメラを破壊せよ2—6

ソニック「まだ追ってきやがってる」

先ほどハンターに見つかってしまったソニック

ハンター「……………」

撒いたようだ

ソニック「危なかったぜ」

その時

ゴツッ

ソニックの足に何かが当たった

ソニック「ラッキー、宝箱だ」

運よく宝箱を見つけた

ソニック「不幸中の幸いだな 中身は何だ？」

開けると大きい銃が入っていた

ソニック「定番の冷凍銃か」

ソニック「おっちょうどいいところに」

目の前に先ほど追いかけられたハンターがいた

ハンター「……」

見つかった

ソニック「これをくらえ!!」

ボッシュウウ

ハンター「……」

ハンター1体凍結

ソニック「これで1体減ったぜ」

宝箱残り2個

その頃ミッションは

マリオ「あったぞ!」

ブチッ

1
2↓1
1

子リン「せーの！」

1
1↓1
0

子リン「後10個か」

子リン「頑張らないと」

ネス「あったあった」

ブチッ

1
0↓9

レッド「こっちも見つけたぞ！」

9↓8

ネス「見つからなくなってきたね」

レッド「こっからが大変だ」

ついに1桁になった監視カメラ

しかしその頃

兵隊「大臣様 先ほど仕掛けた監視カメラが何者かに次々切られて
おります」

大臣「なにそれは本当か」

兵隊「おそらくダークスター軍の者がやっているのでは？」

大臣「そうか だが安心しろ次の手は用意している」

兵隊「それは本当ですか」

大臣「ああこれよりもっと有効なものだ」

大臣「ダークスター軍め覚悟しろ」

カービィ「ねえガノン僕たち何もやらなくてもいいのかな？」

ガノンにアンパンを分けてもらったカービィ

ガノン「そう心配するな 誰かやってるだろ」

ガノン「それより今はアンパンを食うことを専念しろ」

カービィ「そうだね」

ネス「あつたよレッド」

レッド「こっちもだ!!」

ブチッ

8↓7

ブチッ

7↓6

マリオ「見つけた!!!!」

ブチッ6↓5

サムス「どこにあるの？」

サムス「もう無くなっちゃったのかしら？」

サムスの近くにハンター

サムス「わっハンター」

見つかった

サムス「うわあああ」

ポンッ

サムス確保

残り32人

サムス「油断したわ・・・」

プルプルプル

ロイ「サムスさん確保！！！！」

スネーク「意外とはやく捕まったな」

子リン「げっここ2つもある・・・」

子リン「気をつけないと」

ブチッ

5↓4

ブチッ

4↓3

子リン「後3つ!!!」

マリオ「無いぞどこだ」

残り少しなのでなかなか見つからない

マリオ「もしかしてあれか？」

マリオの50メートルぐらい先の工具室にそれらしきものがあった

マリオ「なんだここにあったのかよ」

ブチッ

3↓2

マリオ「灯台下暗しだったぜ」

マリオ「なんでできずかなかったんだ？」

ネス「あつた!!! ちょうど2個」

ブチッ

2↓1

ブチッ

1↓0

ミッションクリア

ネス「やったあ」

レッド「捕まらずに済んだな」

プルプルプル

ファルコ「ミッション結果」

ウルフ「マリオ、ネス、レッド、子リンの活躍によりミッションクリア！！！！！」

カービィ「やったあみんなすごい！！」

ガノン「ほらな言った通りだったろ」

カービィ「うん・・・」

兵隊「大臣様今すべての監視カメラが切られました・・・」

大臣「ちょうど準備が終わった」

兵隊「本当ですか！」

大臣「ああ今から実行する」

大臣「これで貴様らも終わりだダークスター軍団！」

ミッション 監視カメラを破壊せよ2－6（後書き）

次回逃走者に最大の危機が訪れる！

ミッション 指紋を認識せよ3—1

プルプルプル

メールだ

ワリオ「うわっビックリしたいきなり！」

ロイ「なになに今から敵がいなか調べるため国民全員の指紋の認識を行う」

クッパ「しかし君たちは指紋をこの国に登録していない」

マルス「なのでこの国の4か所ある指紋登録機で指紋を登録しなければならぬ」

マリオ「そしてその登録表を残り185分までにスターキャッスル前の認識機にとうさなければならぬ」

ルカリオ「なお165分を越えても認識されなかったものは強制失格となる・・・」

ミッション

今から敵がまぎれていないか調べるため国民全員の指紋認識を行う

しかし君たちは指紋をこの国に登録していない

なのでこの国の5か所ある指紋登録機で指紋を登録しなければならない

そしてその登録表を残り165分までにスターキャッスル前の認識機にとうさなければならぬ

なお165分を越えても認識されなかったものは強制失格となる

ウルフ「自動的に強制参加になっちまうな・・・」

子リン「まださっきのミッション終わったばかりなのに・・・」

スネーク「よし動くか!!」

参加しなければ強制失格になってしまうこのミッション

当たり前だが全員が参加する

カービィ「行こうよガノン」

ガノン「待てカービィ、このメロンパンを食い終わるまで待ってくれ」

カービィ「あっメロンパン僕にもちようだい!!」

ガノン「少しだけだぞ」

まだ隠し持っていたのか・・・

ネス「レッドここからは分かれていこうよ、2人でいると危険だし」

レッド「そうするか」

レッド「じゃあな捕まるなよ!!」

ネス「うん」

分かれていくようだ

フォックス「早速見つけたぜ」

流石は俊足

わずか5分で見つけた

フォックス「ここに指をおけばいいのか」

ウィーン

ガチャ

フォックス「次はキャッスルか」

フォックス指紋表 獲得

メタナイト「ここだな・・・」

ウィーン

ガチャッ

メタナイト「急いでいくか・・・」

メタナイト指紋表 獲得

ルカリオ「ここまで目立たなかったからな」

ルカリオ「1番にクリアしてやる!!」

そういうルカリオの近くにハンター

ルカリオ「うわぁハンター」

見つかった

ルカリオ「目立ってないのに捕まってたまるかよ!!」

ルカリオが逃げた先にロイが

ロイ「ハンター来やがった!!」

ルカリオ「ロイ逃げろ！」

ロイ「ハンターつれてくんなよ!!！」

ハンターが狙いをつけたのは

ロイ「うわぁこっち来るなぁぁ」

ロイだ

ハンターとの差が縮まる

ポンッ

ロイ確保

残り31人

ロイ「捕まったか・・・」

プルプルプル

ピカチュウ「ロイ確保」

ルカリオ「すまなかったなロイ」

ハンターはどこに現れるか分からない

ミッションは成功するのか？

残り時間 207分

残り31人

ミッション 指紋を認識せよ3—2

ネス「さっきのミッションの疲れもあるし少し休んでいくかな」

ネス「どっころしょ！」

ベンチに座った

ゴツツ

ネス「下になんかあるぞ？」

覗きこむネス

ネスが見たものは

ネス「あっ宝箱だこれ」

宝箱だ

ネス「僕って意外と運がいいのかも？」

ネス「中身何だろう？」

開けるとサングラスだけが入っていた

ネス「これってあの無敵サングラスだよね？」

そう正にその通り

ネス「これでハンター来ても大丈夫だね！」

運がいい人もいれば悪い人もいる

ワリオ「見つからない・・・」

いまだに宝箱を探しているワリオ

プルプルプル

ワリオ「また確保情報か？」

通告

ただいま200分を超えたため宝箱は消失した

ワリオ「おいおいおい嘘だろ」

ワリオ「まだ俺様が見つけてないのに・・・」

かなり落ち込むワリオ

ワリオ「誰か俺様に出来ないかな？」

そんなことまで期待している

クッパ「意外と早く見つけたぜ」

ウィーン

ガチャ

クッパ 指紋表獲得

プリン 「あっクッパさんプリ」

クッパ 「おおプリンか、登録機はあそこだぞ」

プリン 「ありがとうプリ」

プリン 「早速・・・」

プリンはあることに気付いた

プリン 「届かないプリ・・・」

体が丸くて背が低いプリン

背伸びをしても届かないだろう

クッパ 「もしかして届かないのか？」

プリン 「・・・・・・・・」

クッパ 「図星のようだな、仕方ない手伝ってやるよ」

プリン 「本当プリか！！」

クッパ 「世話のかかる奴だな」

ウィーン

ガチャ

プリン 指紋表獲得

プリン 「顔はすごく怖いけど、すごく優しいプリね」

クツパ 「余計なお世話だ」

クツパ 「さっさと城に行くぞ」

プリン 「うん！」

ピーチ「へえクツパって意外と優しい一面もあるのね」

後ろからこっそりのぞいていたピーチ

ピーチ「今度お城のパーティに呼んであげようかしら」

ピーチ「いけない、こうしちゃ居られないわ」

ウィーン

ガチャ

ピーチ 指紋表獲得

ピーチ「急いでお城に行かなくちゃ」

フォックス「ここが城か」

もう着いたようだ

フォックス「うわっなんだこの列は」

フォックスの目の前にはこの国の住人が一列に並んでいた

フォックス「ここを並ぶのか・・・」

監視人「こらあ押すな！」

住民1「俺じゃねえ、俺の後ろの奴が押したんだ」

住民2「お前、俺のこと言ってるのか」

住民1「ああそうだ、お前以外にだれがいる」

住民2「ふざけるな、やるのか貴様!!」

住民1「ああ上等だ」

住民「貴様なめてるのか!!!!」

監視人「こらあ喧嘩ならよそでやれ!!」

フォックス「ほとんど争いじゃないか・・・」

メタナイト「うおなんて数だ！」

フォックス「メタナイトじゃないか」

メタナイト「フォックスか、この列どう切り抜ける？」

フォックス「並ぶしかないな」

メタナイト「しかしそれでは間に合わないのでは？」

フォックス「それは大丈夫だ1人認識する時間は15秒ぐらいだからな　すぐに回ってくるだろ」

メタナイト「ハンターに見つからなければ良いがな」

ミッションには困難がつきものだ

残り31人

残り時間 192分

指紋表獲得者

フォックス

メタナイト

クッパ

プリン

ピーチ

ミッション 指紋を認識せよ3—3

ルカリオ「やばいぞ このままでは誰かに先を越されてしまう!」

もう越されていたりする

しかしそれはきずかない

ルカリオ「ロイの分も頑張らないといけないのに・・・」

するとそこへ

ミュウツー「ここには無いか あっ・・・」

犬猿の中のミュウツーだ

ルカリオ「ミュウツー!!!!!!」

ミュウツー「なんだ貴様か・」

ルカリオ「貴様とはなんだこのリストラやろう」

ミュウツー「なんと、どうせ貴様も次の新作でゾロアークと交代になるくせに」

ルカリオ「それはまだ決まっていまいだろうが!!!!!!」

言い争う2人に2体のハンターが近付いている

しかし2人ともきずかない・・・

ハンター1「・・・・・・・・」

ハンター2「・・・・・・・・」

見つかった・・・

ルカリオ「だいたいお前が・・・・・・・・ハンター!!!!!!」

ミュウツー「ちっこんなときに限って・・・」

きずくのが遅かったためハンターとの差が小さい

ルカリオ「うわあああ!!」

ポンッ

ルカリオ確保

残り30人

ルカリオ「捕まってしまうとは・・・」

ミュウツー「ぐうつ!!」

ポンッ

ミュウツー確保

残り29人

ミュウツー「ルカリオめ・・・」

プルプルプル

ファルコ「確保情報　ルカリオ、ミュウツー確保」

ドクター「リストラ組がもう残り2人に・・・」

ウルフ「あいつら絶対喧嘩して捕まったな」

オリマー「ハンターを見ずに見つけました」

ウィーン

ガチャッ

オリマー 指紋表獲得

オリマー「ハンターどころか仲間も誰1人見ていませんね?・」

影が薄すぎるオリマー

しかし自分では気づいてない

ネス「やっと見つけたよ・・・」

ウィーン

ガチャッ

ネス 指紋表獲得

ネス「こっからは楽だね」

ネスはあの行列のことは知らない

ロボット「見つけました！」

ウィーン

ガチャッ

ロボット 指紋表獲得

ロボット「後はお城ですね！」

メタナイト「まだなのか？」

フォックス「後50人ぐらいかな」

ピーチ「まだ待つの・・・」

プリン「プリ・・・」

クッパ「もうちょっと後に来た方が良かったかもな」

ネス「ええ並んでの！！！」

フォックス「おっネスか」

ネス「フォックスこの列なに！！！」

フォックス「メールに書いてあったろ、住人全員でって」

メタナイト「お前はまだ良い方だけど私はずっと前から並んでいたんだぞ」

ネス「そんなあ」

ミッションは大変だ

ワリオ「ああ宝箱」

まだ落ち込んでいるワリオ

ワリオ「あれか登録機という奴は」

偶然見つけた

ウィーン

ガチャッ

ワリオ 指紋表獲得

ワリオ「宝箱・・・」

ドクター「見つけたぜ！」

ウィーン

ガチャッ

ドクター 指紋表獲得

しかしそのドクターの近くにハンターが

ドクター「うおハンター!!!!!!!!!!!!!!」

ハンター「・・・・・・・・」

見つけた

ドクター「捕まるかあああ」

逃げる速度を上げる

ハンターとの距離は遠ざかっていく

ドクター「逃げ切れるか!!」

ハンター「・・・・・・・・」

逃げ切ったようだ

ドクター「はあはあ逃げ切ったぞ・・・」

いくらクリアしてもハンターの脅威は変わらない

残り 28人

残り時間 181分

指紋表獲得者

フォックス

メタナイト

クッパ

ピーチ

オリマー

ネス

ロボット

ワリオ

ドクター

ミッション 指紋を認識せよ3—3 (後書き)

ああ肩がこる・・・

ミッション 指紋を認識せよ3-4 (前書き)

今回あんまり逃走中ぽく無いです

ミッション 指紋を認識せよ3—4

大臣「作戦はうまくいっているか？」

兵隊「いえ、誰一人怪しいものは見つけていません・・・」

大臣「ううこれも失敗しちゃうのかな」

その時

ドンッ

ドアの開く大きな音がした

大臣「ぎゃっ王様！！！！」

ビビる大臣

星の王「大臣よ作戦はうまくいっているのか？」

大臣「すいません、まだ見つかっておりません・・・」

星の王「なんだと！！！！！」

星の王「成功しなかったら貴様は首だからな！！！！！！」

バタンッ

大臣「王様怖いよー怖いよー助けて首になりたくないよお！！」

兵隊「大臣、キャラが崩壊しております」

大臣「あっ……」

大臣「これはジョークだよジョーク、あはは♪」

兵隊「……」

大臣「……」

大臣「ああそうだよこれが私のキャラだよ、もうどうにでもなりやがれ!!!」

兵隊「じゃあ王様に言ってきますね」

大臣「わああ待った!!!!」

大臣「お前の行きたがってた星屋のラーメンおごってやるから黙っててくれ」

兵隊「マジすか!!」

大臣「だがその代わり何としても作戦を成功させろ!!!!」

兵隊「分かりましたよ」

兵隊「あの大臣様、もしこの作戦が失敗したら手はあるんですか？」

大臣「あることはあるんだがちよつと大変何だよ」

兵隊「それなら安心ですね、では」

大臣「あつ待て!!」

バタッ

大臣「行っちゃった・・・」

大臣&兵隊トーク終了

その頃キャッスルの様子は

フォックス「回ってきたぞ！」

ネス「やった！」

ピーチ「やっとここから離れられるわ・・・」

フォックス「じゃあまず俺から」

ウィーーン

シュン

フォックス ミッションクリア

メタナイト「次は私だ・・・」

ウィーーン

シュン

メタナイト ミッションクリア

クツパ「じゃあ次は俺」

その時

ネス「あっハンター！！！！」

フォックス達の50メートル先にハンター

ハンター「・・・・・・・・・・！」

見つかった・・・

クッパ「みんな散れ！！！」

プリン「プリ！！」

ピーチ「ああもう後少しだったのに・・・」

一斉に逃げ出す

ハンターが狙いをつけたのは

ピーチ「こっちに来てる！」

ピーチだ

ピーチ「来ないで……！」

ポ
ン
ッ

ピ
ー
チ
確
保

残
り
2
8
人

ピ
ー
チ
「
悔
し
い
わ
・
・
」

プルプルプル

ピカチュウ「確保情報　ピーチ確保」

マリオ「ルイージに続いて姫まで・・・」

ゼルダ「女が少なくなってきたわね」

クッパ「城から離れてしまった・・・」

クッパ「急いでいかないと」

オリマー「着きました!!」

オリマー到着

オリマー「あれ仲間は誰もいませんね？」

ハンターに追いかけて今はバラバラになっている

オリマー「おかしいですね、誰もいないなんて」

ウィーーン

シュン

オリマー ミッションクリア

オリマー「これで一段落ですね」

ネス「はあはああっオリマー」

オリマー「あっネスさん!!」

ネス「あれオリマー来てたんだ」

オリマー「みなさんはどこに行っただんですか？」

ネス「ハンターに追いかけてバラバラになっちゃったんだ」

ネス「あっそうだミッション」

ウィーーン

シュン

ネス ミッションクリア

ネス 「もう次のミッションは行けないかも・・・」

オリマー 「ネスさん一緒に行動しませんか？」

オリマー 「その方がハンターを発見しやすいし」

ネス 「うんいいよ」

クツパ「おーいネス」

ネス「あつクツパも来れたんだ」

クツパ「当たり前だ！」

ウィーーン

シュン

クツパ ミッションクリア

クツパ「じゃあな」

オリマー「クッパさん行っちゃいましたね」

ネス「僕たちも行こうか」

オリマー「はい」

その頃ほかの逃走者は

マルス「発見！！」

ウィーン

ガチャッ

マルス 指紋表獲得

マルス「アイクはクリアしたかな？」

アイク「ヒックション！！！」

アイク「誰か俺の噂をしたな」

感がいい

アイク「ああそれよりこれ・・・」

ウィーン

ガチャッ

アイク 指紋表獲得

アイク 「間に合うかな？」

ガノン 「おいカービィ、ここにクレープ売ってるぞ！！！」

カービィ 「クレープ！！！！！」

カービィ 「あっでもお金が・・・」

ガノン 「自首用のコインで買えるらしいぞ」

ガノン「すいません、イチゴクリーム味ください」

ジュゲム「はいイチゴクリーム！」

ジュゲム「そこの君も買う？」

カービィ「クレープ食べたいよお、でも自首ができなくなっちゃう
でしょう・・・」

ガノン「自首なんかよりこれかった方がいいぞ」

カービィ「じゃあレモンバター味ください」

うまいのだろうか？

ジュゲム「はいレモンバター味」

ジュゲム「2人ともありがとね!!」

カービィ「ああこれで自首ができない」

ガノン「自首しなさそうな奴からもらえばいいんじゃないか」

カービィ「くれるかな」

世の中そんなに甘くない

ガノン「おっちょうど見つけたぞ」

指紋登録機発見

ウィーン

ガシヤツ

ガノンドロフ 指紋表獲得

ガノン「お前届かないだろ 持ってやる」

カービィ「ありがとう!!!」

ウィーン

ガシヤ

カービィ 指紋表獲得

ガノン「いそいで城に行くぞ！」

カービー「うん」

全員ミッションクリアなるか・・・

ミッション 指紋を認識せよ3—5

プリン 「戻ってきたプリ・・・」

城へ戻れたようだ

プリン 「長い道のりだったプリ」

プリン 「ミッション・・・あっ」

背が小さすぎるプリン

もちろんここも届かない

プリン 「誰か助けてプリ・・・」

さっきの用に持ってくれる人はいない

レッド「やっと見つけたぜ！」

ウィーン

ガシヤッ

レッド 指紋表獲得

レッド「皆クリアしたのか？」

ドンキー「うっほ見つけた♪」

ウィーン

ガシヤッ

ドンキーコング 指紋表獲得

ドンキーコングのクリアの後

次々に指紋表を獲得した

ファルコン「見つけた!!」

ソニック「見つけ」

マリオ「あった!!」

ナナ「見つけた」

この後も連続でクリアし指紋表を獲得していないのは4人となった

ファルコ「そろそろやばくなってきたな」

スネーク「どこにあるんだ？」

子リン「やばいかも！」

ウォッチ「ミツカリマセン」

この4人だ

その頃

プリン「誰か来るまでハンター来ないで！！！」

必死に願うプリン

しかしその近くにハンター

ハンター「・・・・・・・・！」

見つかった

プリン「うわっハンタープリ」

必死に逃げるプリン

しかしハンターとの差は狭い

プリン「来ないでプリー」

ポンッ

プリン確保 残り27人

プリン「神様の馬鹿プリ」

願い損だ・・・

プルプルプル

マルス「確保情報 プリン確保」

クッパ「しまったあいつの事忘れてた……」

ワリオ「着いたか……」

ワリオ到着

ウィーーン

ガシャッ

ワリオ ミッションクリア

ワリオ「これで強制失格は無くなったな」

マリオ「やっと着いたな」

アイク「間に合ったか」

ファルコン「意外と早く着いたな」

途中で合流していた

マリオ「これって3人連続で出来るんじゃないか？」

確かに3人分のスペースがある

アイク「せーの」

ウィーーーーー

ガシャ

マリオ、アイク、ファルコン ミッションクリア

マリオ「ここで皆来るの待ってようぜ」

アイク「マジかよ」

ファルコン「皆伏せろ!!!」

マリオ達の50メートル先にハンター

ハンター「・・・・・・？」

通り過ぎたようだ

マリオ「危ねえ、サンキューファルコン」

ファルコン「後少し気づくの遅かったら見つかったぜ」

アイク「心臓に悪いな・・・」

ガノン「着いたぞカービィ」

カービィ「あっマリオ達だ!!!!」

マリオ「カービィ!!!! 後ガノン」

ガノン 「後って何だ後って」

ガノン 「お前らミッション終わったのか？」

アイク 「ああさっきな」

ガノン 「じゃあ俺らも」

カービー 「ガノン持って」

ガノン 「分かってるよ」

ウィーーーーーン

ガシャツ

ガノンドロフ、カービィ ミッションクリア

ガノン「じゃあな俺らはもう行くぞ」

ファルコン「俺も行くぞ、マリオ」

マリオ「ああアイクとみてるよ」

アイク「えっ俺も・・・」

マリオ「見てるよなアイク♪」

アイク「ああ・・・」

強引だ

ウルフ「ここが城か、結構でかいな」

ウィーーーーーン

ガシヤッ

ウルフ ミッションクリア

ウルフ 「そこで何してるんだマリオ」

マリオ 「誰が来るか見てるんだよ、お前も一緒に・・・」

ウルフ 「やめておく！」

残り時間は少ない

クリアなるか！！！！

ミッション 指紋を認識せよ3—6

ロボット「着きました!!!」

ロボット遅めの到着

ロボット「ここですね」

ウィー—ーン

ガシャッ

ロボット ミッションクリア

ロボット「これで大丈夫ですね」

それにしてもロボットに指紋はあったのであろうか？

謎である・・・

その頃・・・

ファルコ「残り時間あと16分か・・・」

まだ指紋表も持っていないファルコ

ファルコ「本格的にまずいな・・・」

時間的に今見つけなければクリアは難しいであろう

ファルコ「これだけはやりたくなかったんだが・・・」

プルプルプル

フォックス「おっファルコかどうした？」

ファルコ「フォックス頼む！認識機のを教えてくれ！！」

フォックス「俺に頼むなんて珍しいな、今どこにいる？」

ファルコ「遊園地だ・・・」

フォックス「なんだそこかよ！観覧車の入り口を見てみな」

ファルコ「あっあったこんなところに」

フォックス「ちょうど俺がやったところだ、良かったな」

フォックス「じゃあな頑張れよ」

ファルコ「待てフォックス！」

フォックス「何だ？」

ファルコ「ありがとな・・・」

ブチッ

フォックス「あいつらしいな・・・」

ファルコ「急がないと!!」

ウィーン

ガシヤッ

ファルコ 指紋表獲得

ファルコ「久々に走るぜ!!」

ファルコ間に合うか!!

ドンキー「デイディー着いたぞ」

デイディー「間に合った・・・」

ウィーーーーーン

ガシヤッ

ドンキー、デイディー ミッションクリア

ドンキー「逃走成功したらバナナ買いまくるぞ！」

デイディー「もちろんだよ!!」

知らないうちに合流していたらしい

そして

レッド「はあ着いた・・・」

ウィーーン

ガシャツ

レッド ミッションクリア

レッド「ギリギリだ・・・」

そして

ドクター「間に合ったな・・・」

ウィーーーーーン

ガシャッ

ドクター ミッションクリア

ドクター「残り時間がやばい」

レッドそしてドクターがクリア

これでミッションをクリアしていないのは

ファルコ、ピカチュウ、子リン、ウォッチ、ゼルダ、スネーク
ソニック、ナナ、マルス

の9名となった

この中でだれがクリアできるのか!!

ファルコ「城が見えてきた!」

ピカチュウ「お城」

同時に叫んだ

ファルコ「ピカチュウ！」

ピカチュウ「ファルコ!!」

ファルコ「話してる場合じゃない、ピカチュウ今は急ぐぞ」

ピカチュウ「ピカ！」

お互い真剣である

ゼルダ「お城はどこ？」

迷子になったお姫様

ゼルダ「ああもう時間が」

ピンチである

ソニック「くっ俺の足でも間に合うか分からない・・・」

ソニックがいる場所と城は1キロも離れている

ソニック「頼む間に合え!!」

残り時間

170分

残り

27人

ミッション未クリア

9
名

ミッション 指紋を認識せよ3－6（後書き）

強制失格になるのは誰だ？

ミッション 指紋を認識せよ3—7

ファルコ「残り時間後何分だ？」

走りながら考えるファルコ

その時、

プルプルプル

メールだ

ファルコ「通告ミッション終了まで残り2分、2分だど！！」

ピカチュウ「まだ結構距離あるよ・・・もうダメかな・・・」

まだ500メートルはある

ファルコ「ピカチュウ急げ！！足がちぎれるぐらい全力で走るんだ！！！」

ファルコ「まだ間に合うかもしれないぞ・・・」

ピカチュウ「ピカ！！！」

まだ望みはある・・

その頃、

ゲムオ「アリマシタ！ヤットミツケタ！！」

ウィーン

ガシャッ

ゲムオ 指紋表獲得

ゲムオ「マダダイジョウブデス!!」

スネーク「見つけた!!」

ウィーン

ガシヤツ

スネーク 指紋表獲得

スネーク「間に合え!!」

スネーク&ゲームオ

指紋表獲得

これで指紋表を獲得していないのは

子リンだけとなった

子リン「これもう自首した方がいいよね・・・」

あきらめ気味の子リン

子リン「ちょうど近くに電話ボックスあるしさ・・」

しかし子リンの近くにハンター・

ハンター「・・・・・!」

見つかった・・

子リン「えっと電話番号なんだっけ？」

子リンは気づいていない

子リン「うわぁハンター!!」

気づくのが遅かった・・

ポンッ

子リン確保

残り26人

子リン「ハンター来てたの？」

注意不足だ・

プルプルプル

レッド「子リン確保か、リンク軍団全滅だな」

ドクター「リストラ組もう俺だけか・・・」

その頃、

ファルコ「後100メートルぐらいだな」

ピカチュウ「ピカ!」

その時、

ドドドドドドッ

ソニック「失格になってたまるかぁ!!」

ソニックがやってきた

ミッション終了まで残り30秒

間に合うか!!!!

ファルコ「着いたぞ!!!!」

ソニック「急げ!!」

ウィーーーーーン

ガシャッ

ファルコ、ピカチュウ、ソニック ミッションクリア

そしてその時、携帯が鳴った

プルプルプル

ファルコン「ミッション終了!!」

ドンキー「失格者はゼルダ、スネーク、ゲムオ、マルス、ナナの5人」

ネス「5人も一気に減っちゃった!？」

アイク「そろそろや人数が少なくなってきたな・・・」

ゼルダ「悔しいわ、ここで終わりなんて・・・」

スネーク「無念・・・」

ゲムオ「ザンネンデス・・・」

プルプルプル

メールだ

ワリオ「なんだまたかよ・・・」

ディディー「えっと今からゲームを・・・ドンキーこれ何て読むの？」

ドンキー「なかだんだぞ覚えておけよ」

本当は中断ちゅうだんと読む

レッド「ゲームを中断して休憩をとる」

クッパ「逃走者は全員スターキャッスル前に集まりたまえ」

カービィ「やったきつと夜ごはんだー!!」

ガノン「ビフテキあるよな」

一時ゲームを中断し夜食をとるようだ

残り時間、162分

残り、21人

休憩タイム♪

クツパ「ふうやつと休憩か」

ファルコン「300時間ぶっ通しじゃ体が持たないからな」

次々に集まる逃走者

夜食が力の源だ

そして10分後

支配人「これで全員ですね、こちらです付いてきてください・・・」

多人数用のエレベーターに乗り込む逃走者たち

カービィ「ああ楽しみ♪」

ソニック「城の最上階だからな、結構豪華だと思うぞ」

ウィーロン

支配人「着きました、ここです・・・」

最上階に着いたようだ

レッド「うわぁすごい・・・」

アイク「思ったより豪華だな・・・」

あまりのすごさに嘔然となる

カービィ「やったあバイキングだよ!!」

ガノン「ビフテキがある!!」

支配人「どうぞご自由に食べてください・・・」

皆「わああああ!!」

一斉に駆け込んだ

ネス「カレーにパスタにお寿司もある！、最高」

カービィ「もぐもぐもぐバクバク！！」

アイク「カービィ肉ばっか食うな！俺の分が無くなる！！」

支配人「心配しないでください、無くなった場合おかわりもあります・・・」

マリオ「そう言えば牢獄にいる皆はどこにいるんだ？」

支配人「別の場所にいらっしゃいます・・・」

マリオ「ふうーん、なら心配無用だな、食うぞ!!」

支配人「・・・・・・・・」

そしてまた時間はたつ

マリオ「ふう食った、食った・・」

ガノン「もう腹に入らないな」

カービー「ええ皆もう限界、まだ食べようよ♪」

アイク「そうだぞ！」

ドクター「お前らの胃とは違うんだよ！」

呆れるぐらいの食欲だ・・

カービー「アイク早食い競争やろう!!！」

アイク「受けて立つ!!！」

メタナイト「逃走中してるの忘れてないか・・・」

ファルコ「まああいつらだからな・・・」

そしてまた1時間が経った

支配人「ではそろそろ皆さん、お部屋の鍵を渡しますので4階のホテルエリアに行ってください・・・」

カービー「ううもう動けない・・・」

アイク「ちよつと食いすぎたな・・・」

ワリオ「当たり前だ俺でもそんなに食わないぞ!!」

ガノン「カービー持ってやるから行くぞ」

カービー「うん・・・」

ネス「よし疲れたからいっぱい寝るぞ!!」

マリオ「明日は8時起きか」

ファルコン「それより風呂はどこだ？」

支配人「あそこを曲がってつきあたりです・・・」

ファルコン「おっしゃ」

クッパ「風呂、風呂♪」

もはや緊張感は忘れきっている

逃走者が夜食を食べている時、牢獄の逃走者は・

デデデ「おいっ!!我輩たちはどうするゾイか!!」

ピット「まさかここで寝るとかありませんよね」

支配人「牢獄のみなさん出てください・・・」

ピチュー「やっと出れた!!」

トウーン「正直きつかった・・・」

デデデ「で我輩たちはどこに？」

支配人「近くの宿です、付いてきてください・・・」

子リン 「今頃皆おいしいご飯食ってるだろうな・・・」

デデデ 「食べたかったゾイ・・・」

支配人 「付きました、ここです・・・」

ポポ 「うわぁすごくボロイ・・・」

みるとそこにはボロイ宿のようなところが

ゼルダ 「ちょっと私たちここに泊るの!!」

支配人「ハイ・・・」

ピット「僕たちの扱いひどくない!!」

支配人「大丈夫です、ちゃんと全員の部屋があります」

ルカリオ「そう言う問題じゃなくて・・・」

デデデ「我輩はもう寝ればいいゾイ・・・」

ピチュー「まあそこよりはましだからいいか・・」

ミュウツー「そうだな・・」

宿とホテルとは天と地の差だ・・

休憩タイム♪（後書き）

次回、逃走再開！！

ゲーム再開!!! (前書き)

最近感想が全くきません・・

どうか読んでくださる方ご感想を・・・

ゲーム再開!!!

ただ今の時刻は8時59分30秒

後30秒でゲームが再開するところだ・

レッド「後30秒か・」

ソニック「緊張するな・」

逃走者は好きな場所から逃げることができる

クッパ「後10秒だ!!」

10

9

8

7

6

ゲーム再開だ・
・

ハンター×3「
・
・
・
・
・
!!」

1

2

3

4

5

ワリオ「始まったか・・・」

フォックス「絶対逃げ切ってやる！！！」

その頃、牢獄では

ゼルダ「始まったみたいよ」

ヨッシー「誰が逃げ切りますかねえ？」

ルカリオ「ソニックじゃないか？、早いしさ・・・」

デデデ「意外とクツパかも知れんぞ」

子リン「とりあえず全滅だけは嫌だな・・・」

ロイ「あり得るかもしれないぞ、ハンターの速さは怪物なみだから」

ピチュー「もう！こんなに早くから全滅とか言わないでよ」

予想大会はまだまだ続きそうだ・・・

その頃、逃走者は

ロボット「わっハンターです!!」

近くにハンターを見つけたロボット

きずかれない様に移動する・

ロボット「良かった・・違うところに行きました・・」

安心するロボット

しかし近くにもう1体のハンターが近付いている・

ハンター「・・・・・・・・!!」

見つかった・・・

ロボット「またハンター!!!!!!」

ようやくきずいた

しかしきずくのが遅かったため距離はどんどん小さくなる

ロボット「わああ!!」

ハンター「……!!!!」

ポ
ン
ッ

ロ
ボ
ッ
ト
確
保

残
り
2
0
人

ロ
ボ
ッ
ト
こ
こ
で
散
る
・
・
・

ロ
ボ
ッ
ト
「
速
す
ぎ
で
す
よ
・
・
・
」

プルプルプル

ファルコ「確保情報、ロボット確保!！」

クツパ「まだ5分も経ってないぞ!？」

少しでも気を抜いたら確保だ・・・

その頃、

大臣「なに怪しいものは誰も居なかったのか!!」

兵隊「はい・・・町じゅうを回りましたけど・・・」

大臣「ああどうしよう首になってしまおう!!」

兵隊「大臣様次の手で成功しましょう」

大臣「へっ次の手って？」

兵隊「さっき言ってますでしたか？？」

大臣「あれはだめだだめ王様に怒られる！！」

兵隊「じゃあもう・・・」

大臣「打つ手はなしってことだ・・・」

その時、

ドンッ

王様 「おい大臣また失敗したのか!!!!!!」

大臣 「すっすいません・・・」

王様 「次成功しなかったら本当に首だぞ!!」

ドンッ

大臣「うわぁどうしよう、どうしよう!!!!」

兵隊「そうだ大臣様、この国で逃走中というものが行われてるらしいです」

大臣「それがどうした？」

兵隊「その人達に探してもらうってのはどうですか？」

大臣「また同じ結果になるんじゃないか？」

兵隊「大丈夫だと思いますよ、足が速い方、強い方がそろっておられるようなので」

大臣「しかたないそれに賭けるか・・・」

ゲーム再開!!! (後書き)

「次回逃走者にチャンスが!!!」

ミッション スパイを見つけ出せ 4—1

マリオ「そろそろミッション来そうだな・・・」

プルプルプル

マリオ「本当に来た!」

アイク「なになに、この国の中に、ダークスター軍の3人スパイが潜んでいる・・・」

オリマー「残り105分までにそいつを見つけ出せ・・・」

ソニック「スパイは背中に黒い星が付いた服を着ている

ピカチュウ「なお見つけたらスターキャッスル前にいる大臣に連れて行く」

ファルコン「1人見つけるごとに賞金が1秒100円ずつ上がっていく」

ドクター「急ぎたまえ・・・」

ミッション

この国にダークスター軍の3人のスパイが潜んでいる

残り115分までにそいつらを見つけ出せ

スパイは背中に黒い星が付いた服を着ている

なお見つけたらスターキャッスル前にいる大臣に連れて行く

1人見つけるごとに賞金が1秒100円ずつ上がっていく

急ぎたまえ……

ワリオ「金、金が増える・・・、絶対行くぞ!!!」

クッパ「ダークスター軍かレッドリオン軍か知らないが怪しい奴を見つけりゃあいいんだな」

ウルフ「簡単だ、すぐに見つけてやる!!!」

金が増えると聞いて意気込む逃走者たち

やる気は十分だ

その頃、牢獄では

ナナ「ねえあれじゃないかしら？スパイって・・・」

牢獄の前をこそそと歩くスパイの姿が

ロイ「確かに黒い星が付いた服を着てるな」

サムス「動きが挙動不審だしね」

デデデ「教えること出来ないのかゾイ」

マルス「逃走者にメールを出しちゃだめですしねえ・・・」

目の前にいるのに捕まえることができない牢獄のメンバー

ファルコン「もしかしてあれか？」

ファルコンの前方には黒い服を着た者がいる

ファルコン「捕まえてやる！」

そろそろと近づくファルコン

気づかれてはいない

ポンッ

ファルコン「捕まえたぞ！」

住人「なんですかいきなり！！」

人違いのようだ

ファルコン「人違いだ、すまん」

そそくさと逃げるファルコン

ファルコン「紛らわしい奴だな・・・」

自分の観察不足だ

ワリオ「えっと1人に100円増えるから、全部合わせて・・・？」

計算ができない大人

ワリオ「きつと数えきれないぐらいの金額だな、うん！」

自分で納得する・・・

そしてその頃、

大臣「本当に見つけてくれのか？」

同じところを行ったり来たりしている大臣

兵隊「信じましょう、あの人達を」

大臣「でももしこれが失敗したら私は首なんだぞ！」

兵隊「きっと大丈夫ですって」

大臣「頼む見つけてくれー！！！」

このミッションには大臣の首も掛かっている

失敗はできない・・・

残り時間 145分

残り 20人

ミッション スパイを見つけ出せ 4—2

アイク「あいつか、もしかして？」

怪しい者を見つけたアイク

アイク「少しずつ近付いて・・・」

ポンッ

アイク「見つけたぞ！！」

スパイ「やばいつ!!!!」

どうやら本物のようだ

スパイ「捕まってたまるかYO!!!!!!」

スパイが逃げ出した・・・

アイク「待てっ逃げるな!!!!」

全力で追いかけるアイク

しかしその近くにハンターが・・・

アイク「うわっハンター!!!!!!」

ハンター「……………!!!!!!」

ハンターに見つかった……

スパイ「チャンス！！！！」

そのすきにスパイはダッシュ！！

アイク「ハンターの存在忘れてた！！」

全力で逃げるアイク

逃げる先には

ワリオ「ぬっハンター！……！！」

ワリオも巻き添えに

アイク「ワリオ逃げろ！……！！」

ワリオ「そんなことわかってる！……！！」

ハンターが狙いをつけたのは・・・

ワリオ「うっ俺様の所に!!!!!!」

ワリオだ・・・

アイク「すまないワリオ・・・」

ワリオ「やめろ来るなあ!!!!!!」

ポンッ

ワリオ 確保

残り 19人

ワリオ「うう金がパーだ・・・」

プルプルプル

オリマ―「確保情報　ワリオ確保!!」

マリオ「ワリオまでも・・・」

アイク「あれっあいつどこ行った？」

スパイを見失ったアイク

アイク「くそ―後少しだったのに・・・」

その時、

プルプルプル

ソニック「通告？」

通告

市場にスパイ逮捕用の網が売られるようになった

それを買えばスパイを捕まえやすくなる

ちなみに自首用のコインで買える

ネス「この逃走中全部自給自足なんだね・・・」

呆れるネス

アイク「市場の近くだ、ちょうどいい買うか・・・」

市場へ向かうアイク

マリオ「コイン使っちゃったからなあ、どうしよう？」

最初のミッションでコインを使ってしまったマリオ

つまり網は変えない

マリオ「あきらめるか・・・」

やむなくミッションを断念・・・

ノコノコ「まいど、ありがとう!!!!」

アイク「ああ」

アイク「良しこれさえあれば・・・」

アイク 網獲得

アイク「ん？あいつは？」

スパイ「わっさっきの奴」

アイク「やはりあいつか！ ちょうどいいところで見つけたぜ！ ！！！」

スパイ「捕まるかよ！ ！！」

アイク「くらえ！ ！！！！！！」

バンッ

スパイ「くそ、なんだこの糸……」

見事命中

アイク「あとはこいつを城へ、んっ？」

兵隊「捕まえてくれたんですね、ありがとうございます……」

アイク「連れてってくれるのか、サンキュー」

運がいい……

5分後

兵隊「大臣様1人捕まえました!!」

大臣「そうかよくやった!!」

スパイ1体確保!!

クッパ「おお200円ずつ上がってる!!」

ネス「誰かがやってくれたんだ!!」

スパイを1体捕まえ残り2人に

賞金は200円ずつ上がるようになった

残り 19人

残り時間 136分

ミッション スパイを見つけ出せ 4—3

クツパ「ミッションやった人ってかつこよく思われるんだろうな・
・」

確かにミッションを貢献すると褒められるだろう

クツパ「よし、我輩もやろう!!」

ミッションに行くことを決意した

ネス「疲れがとれてきた・・・オリマーそろそろミッション行く?」

オリマー「行きましようか」

ネス＆オリマー ミッションを決意

ネス「じゃあまず網を買わないと・・・」

オリマー「私が買しましょう」

ネス「ありがとう、まあ僕、前使っちゃったから買えないんだけどね」

オリマー「市場は・・・結構近いですね」

ネス「じゃあ行こうか」

2人は市場へ向かう

ガノン「要するに怪しい奴を捕まえればいいんだろう、カービー」

カービー「うん、とっても怪しい人をね」

ガノン「たとえばあんな奴か」

ガノンは前でこそそしている人に指をさす

カービー「そうあんな人……って見つけた!!!!」

偶然である

スパイ「げっやばい……」

逃げ出すスパイ

カービー「こら逃げるな!!!! ガノン捕まえるよ!!!!」

ガノン「ああ」

スパイ「やばいやばいやばい.....」

焦るスパイ

カービィ「待てええええ!!!!」

全力で追いかけるカービィ

ガノン「待てカービィ、俺が追いつけない!!」

逃走者の中で1, 2を争うほど足が遅いガノン

カービィ「待て待て待て待て！！！！」

全く無視

カービィ「後少し・・・捕まえた！！！！」

スパイ「やめろーこのピンクだま！！！！」

カービィ「ちょっと何にするのさうわああああ」

スパイはカービィを振りほどき投げ飛ばした

ガノン「へっカービィ、うわあああ」

ドスツ・・・

数秒間の沈黙

カービィ「痛かった・・・」

ガノン「いきなり飛んできてビックリしたぞ!!」

スパイ「よしこの隙にと」

スパイここぞとばかりダッシュ

カービー「あっ逃げちゃった・・・」

さっきまでいたスパイは風のごとくどこかへ消えていた

ガノン「やっぱ網がないとだめだな・・・」

カービー「網買いに行こうか・・・」

カービー「あっ僕たちコイン使っちゃったんだ・・・」

クレープを買う時に2人とも使っている

ガノン「じゃあ捕まえるのは無理だな」

カービィ「うう」

コインを使う時は良く考えて使う方が良い

ノコノコ「へい毎度・・・」

クツパ「おおありがとな」

クツパ網を購入

クツパ 「よしこれで捕まえられるぜ」

意気込むクツパ

そこに、

ネス 「あっクツパまた会ったね」

オリマー 「クツパさんもミッションを？」

クツパ 「ああそうだ」

ネス「お互い頑張ろうね」

クツパ「ああすぐに捕まえてやるよ」

お互いの健闘を願う

オリマー「えっと網を1個ください」

ノコノコ「へい、毎度ありがとう」

オリマー「網買えましたよ!!」

ネス「うんありがとう」

ネス「じゃあ捕まえに行こうか」

オリマー「はい」

残り 19人

残り時間 130分

スパイ
残り2人

ミッション スパイを見つけ出せ 4-4

逃走者がスパイを探しているころ

牢獄ではチャンスが訪れていた

20分前・・・

デデデ「次のミッションは潜んでいるスパイを捕まえるというミッションだで」

マルス「今回も大変そうですね・・・」

リュカ「まあ僕たちにはもう関係ないけどね・・・」

ロイ「もうちょつと残りたかったよな・・・せめて後半ぐらいまで」

牢獄の者が項垂れている時

牢獄の中央にあるテレビに文字が現れた

ワリオ「うおっなんだ？」

トゥーン「何かの連絡でしょうか？」

ルイージ「見てみよう」

通告

このミッションを誰がクリアするかを予想せよ

予想が当たると再びゲームに参加できる

同じ人を選んだ者が2人以上いる場合じゃんけんで決めたまえ

牢獄一同「やったあああ!!!!!!」

デデデ「もし当たったら復活できるで!!」

ピット「早速決めましょう!!」

5分後

ロイ「皆決まったか」

サマス「ええ」

集計結果はこうなった

マリオ・・・ルイージ、ピット

レツド・・・トウーン

ガノン・・・子リン、ゼルダ

カービィ・・・デデデ

ネス・・・リュカ、ポポ

アイク・・・マルス、ロイ

ソニック・・・ピーチ、ルカリオ

ファルコン・・・リンク

ピカチュウ・・・ピチュウ、ミュウツー

メタナイト・・・ロボット

クッパ・・・ヨッシー、プリン

ドクター・・・ウオツチ、ナナ

ウルフ・・・ワリオ

ファルコ・・・スネーク

デデデ「カービィ頼むデ」

ルイージ「兄さんお願い・・・」

だれがクリアするかは分からない

そして今に戻る

ネス「いないもんだね・・・」

オリマー「そう簡単に見つかることはないと思いますが・・・」

なかなか見つけることが出来ない2人

その2人に近づくハンター

ハンター「・・・・・・・・!!!!」

見つかった・・・

オリマー「ネスさん!!!!後ろにハンターが!!!!!!」

ネス「本当だ!!!!!!」

2人は一斉に逃げ出す

ハンターが狙いをつけたのは……

オリマー「私ですか!!!!」

オリマーだ・・・

ネス「追ってこない・・・てことはオリマーの所に・・・」

オリマー「うわぁ!!!!」

ポンツ

オリマ―確保

残り18人

オリマ―「残念です・・・」

プルプルプル

フォックス「なになにオリマ―確保、残り18人」

メタナイト「オリマ―も捕まったか・・・」

ネス「やっぱりオリマ―捕まっちゃったんだ・・・ごめん・・・」

フォックス「俺もミッションやるかな」

ミッションを決意するフォックス

フォックス「まずは網を買わないと・・・市場はここか」

フォックス「よし！フォックス行きます！！！」

フォックス出発

クツパ「おっあいつかな」

怪しい者を見つけたクツパ

クツパ「我輩はわざわざ見つかったから撃つんじゃないかって見つかる前に撃つ!!」

確認もせずに網を撃つ用意をするクツパ

クツパ「くらえ!!!!!!」

パンッ

スパイ「うわぁ何だこれは!!!!」

どうやら本物のようだ

クツパ「ははは我輩にかかればこんなものだ!!!!」

クツパ「後はこいつを連れていくだけだ!!」

スパイ2人↓1人

賞金1秒200円↓300円

大臣「おおまた捕まえてくれたか！！！」

クツパ「こんなのすぐ捕まえられたぞ」

大臣「ありがとう、感謝する！！」

スパイはとうとう残り1人に

ミッションは成功するか!!

ミッション
スパイを見つけ出せ
4—5

ネス「オリマーのためにも1人でミッシェン頑張らないと!!」

意氣込むネス

しかし重大なことを忘れている

ネス「あっ！！そう言えばオリマーが網持ってたんだ・・・」

そう、網は先ほど捕まったオリマーが持っているのだ

ネス「僕はもうコインがないから網は買えないし・・・」

ネス「あきらめるしかないか・・・」

無念の断念・・・

フォックス「着いた！！！！」

フォックス、市場へ到着

フォックス「あのすいません!!」

ノコノコ「はい網だね、毎度ありがとう」

フォックス「なんで網を買って分かるんですか？」

ノコノコ「君、さっき来てた人達と同じ服を着てるからね、お仲間さんでしょ」

フォックス「まあそうですね」

ノコノコ「これを何に使うか分からないけど頑張るんだよ!!」

フォックス「ありがとうございます!!」

フォックス、網獲得

フォックス「よし!! 捕まえてやるぞ!!」

気合いを入れる

ドンキー「デイディー暇だな・・・」

デイディー「そうだね・・・」

指紋のミッシヨンの時からずっと同じ場所に隠れている2人

そんな2人に近づくハンター・・・

ハンター「・・・・・・・・!!!!!!」

見つかった・・・

ドンキー「ハンターも見かけないよな・・・」

ディディー「うん・・・」

2人は気づかない

ドンキー「ん・・・ハッハンター!!!!!!!!!!」

ディディー「ほんとだ!!!!!!」

一斉に逃げ出す2人

しかし見つけるのが遅かったため距離はほとんどない・・・

ドンキー「わあ！！ディディー先に行くなー！！」

ディディー「そんなこと言われても！！！」

足が遅いドンキーが狙われた・・・

ドンキー「うわぁ！！！！」

ポント

ドンキーコング確保

残り17人

ドンキー「そんなあバナナがあ．．．．．」

油断大敵だ．．．

プルプルプル

マリオ「確保情報　ドンキー確保!?!」

クッパ「あのゴリラも捕まったか」

その頃、

大臣「この調子だと全員捕まえられそうだな!!」

兵隊「良かったですね!!」

スパイ1「おいこれからどうする・・・」

スパイ2 「もちろん逃げ出すにきまっているだろ」

スパイ1 「そうだな・・・」

スパイ2 「だがただでは逃げない」

スパイ1 「どうする気だ」

スパイ2 「俺に考えがある、2人ではできないがな」

スパイ1 「あいつが来るのを待つのか」

スパイ2 「ああ今はじっとしていよう・・・」

怪しい話し合いをする2人

しかしこれが逃走者に脅威をふるうことになる

残り時間 121分

残り17人

スパイ 残り1人

ミッション スパイを見つけ出せ 4—6

フォックス「どこにいる？」

スパイを探すフォックス

残り時間はわずか10分

フォックス「残り時間が少ない・・・早く見つけないと」

しかしそんな彼に不運にもハンターが近付く

ハンター「……!!!!!!」

見つかった……

フォックス「ハンター!!!!!!よりによってこんな時に……」

気づくのは早かったのだが探すためにスタミナを使ってしまい距離が短くなっていく……

フォックス「くっ、俺もここで終わりか……」

半分あきらめかけのフォックス

ハンターとの差は残りわずか……

フォックス「そうだこいつを……」

懐からスパイ用の網を取り出す

フォックス「物は試しだ!!これをくらえ!!!!」

ドンッ

ハンター「うっ!!!!」

フォックス「効いた!!今のうちに!!」

ハンターが絡まっている間に逃げる!!

フォックス「危なかったとはいえ、網使うんじゃなかったぜ・・・」

なんとか安全なところまで逃げることできたフォックス

しかしこれでもうスパイを捕まえることは出来ない・・・

フォックス「まあ捕まるよりはましだったけど・・・」

ミッション終了まで残り6分・・・

その頃、残り1人のスパイは・・・

「スパイ「ここで落ち合うって言ったのに誰もこないじゃないか・・・」

茂みの中の大きな木に隠れているスパイ

スパイ「1人だが仕方ない、本部に連絡して一旦引くか」

そんなスパイの近くに2つの影が近づく

ガノン「いいなカービィ、作戦通りにやるぞ」

カービィ「うん、任せてよ」

ガノン「今だ飛び込め!!!」

スパイ「うわっ何だお前!!」

カービィ「僕はカービィ、君を捕まえに来た」

スパイ「くっ追ってか・・・」

逃げるスパイ、しかしそこには大きな影が

ガノン 「逃げられると思うか・・・」

スパイ 「くそっ放せ!!」

ガノン 「放せと言って放す馬鹿がどこにいる」

スパイ 「この野郎、あとで覚えておけ!!!!」

カービー 「挟み撃ち作戦成功だね!!」

ガノン「ああ、あとはこいつを連れていくだけだが・・・」

そこに現れる1つの影

兵隊「あつ捕まえてくれたんですね、あとは私にお任せください」

ガノン「ちょうどいいところに来るな」

兵隊「ええ、兵隊はたくさんいるんで」

ガノン「じゃあ頼んだぞ」

兵隊「任せてください!!」

ミッションクリア

3分後

大臣「やったあ！！！！これで全員捕まえたぞ、これで首は免れた！！！！」

子供のように喜ぶ大臣

兵隊「やはりあの人達に頼んで成功でしたね」

大臣「ああ本当だよ！！！！」

スパイ1 「これで3人そろったぞ、作戦を教えろ」

スパイ2 「ああ作戦はな．．．．．」

スパイ3 「なるほどいい作戦だ」

スパイ1 「我々を捕まえた罪を知れ！！」

残り 17人

残り時間 112分

真の恐怖

プルプルプル

ファルコ「メールか・・・」

レッド「ミッション結果、アイク、クッパ、ガノンドロフ、カービ
イの活躍によりミッションクリア!!!!」

ウルフ「よっしゃあ!!!!」

ネス「良かった、クリアできた・・・」

フォックス「そしてゼルダ、デデデ、プリン、マルスが再びゲームに参加するー!!」

デデデ「カービィにもらった命ただでは終わらせないぞー!!」

ゼルダ「ガノン、ありがとうー!!」

メタナイト「階下が復活!?」

マリオ「全滅の可能性がなくなったな!!」

4名が復活し喜ぶ逃走者達

しかし恐怖が今まさに襲ってくるとは誰も知らなかった

大臣「これで王様に顔を会わせられるよ!!」

兵隊「良かったですね!!」

スパイ3「貴様ら動くな・・・」

大臣「ひっピストル!!」

兵隊「どっどうやって抜け出した!!」

スパイ1「俺たちはスパイのプロだぞ、こんなもの朝飯前だ」

大臣「こっ殺さないで・・・」

スパイ3「なーにじつとしてくれたら危害は出さんよ」

大臣「うつうぐ・・・」

兵隊「うつ・・・」

2人は縄でぐるぐる巻きにされ身動きの取れ無い状態である

スパイ2「さて、作戦を決行する、ナンバー1は例の場所へ、3は俺に続け!!」

スパイ3「おお!!」

王室・・・

スパイ3「動くな!!」

王様「なんだ貴様ら、うっうわぁ！！！！」

スパイ2「ふむ、これが国全体に届くマイクか・・・」

王様「うぐっくっ・・・」

スパイ2「次は俺らをつかまえた奴らへの仕返しだ！！！」

スパイ「この国の住人達よ、この国は我らダークスター軍が征服した！！！！！」

住民「なんだ？王様の声じゃないぞ？」

住民「ダークスター軍が征服！？」

スパイ2「今から本部を呼び、君たち全員を殺しに行く!!」

スパイ2「だが我らは殺生を好まない、齒向かわないのなら我らの仲間に加えてやろう、城の前に集まりたまえ」

スパイ2「隠れたり逃げたりするのはよしたまえ、本部が来しだいこの国の隅々まで探す、隠れても無駄ということだ」

住民「殺すだって……嘘だろ……」

住民「俺、殺されたくない・・・」

住民「うわあああ！！！！！」

メタナイト「なんだ？何が起こっている？」

マリオ「さっきの演説、俺たちが捕まえた奴だよな・・・」

クッパ「仕返してわけか・・・」

プルプルプル

ドクター「来た！！ミッション！！」

ウルフ「先ほど捕まえたスパイが逃げ出し、ダークスター軍の本部に連絡を取った・・・」

ネス「残り80分になると10体のハンターを乗せた5台のヘリが
1機ずつ着陸する」

レッド「着陸の同時に中に入っているハンターが放出される!!!」

ファルコ「阻止するにはヘリの着陸マークを隠さなければならな
い」

マルス「マークはすべてのエリアに1個ずつある・・・」

デデデ「ちなみにこのへりは君たちを見つけ次第ハンターに通報する」

ミッション

先ほど捕まえたスパイが逃げ出し、ダークスター軍の本部に連絡を取った

残り73分になると10体のハンターを乗せた5台のへりが1機ずつ着陸する

着陸の同時に中に入っているハンターが放出される

阻止するにはヘリの着陸マーカーを隠さなければならない

マーカーはすべてのエリアに1個ずつある

ちなみにこのヘリは君たちを見つけ次第ハンターに通報する

ピカチュウ「ええ!!!! ハンターが50体!!!!」

「アイク「さらに俺たちを通報か・・・めんどくさいことになるな・・・」

失敗するとハンターが最大で50体放出されてしまう・

失敗は許されない・・・

残り 21人

残り時間 105分

ミッション ヘリの着陸を阻止せよ 5-1

ピカチュウ「このミッション絶対行かなきゃだめだよね!!!」

フォックス「もう一度行ってみるか!!!」

マルス「行きましょう!!!」

ほとんどの者がミッションに参加するようだ・・・

その頃

スパイ1 「今、戻ったぞ」

スパイ2 「うまくマーカ―を置いたか？」

スパイ1 「ああばっちりだ!!」

スパイ2「ふふふ、これで本部のヘリがくればこの作戦は成功だ！
」

ブルブルブルブル

どうやらヘリが国に到着したようだ

レッド「あれか？ハンターが乗っているヘリってのは」

ゼルダ「ヘリに見つかっちゃうと通報されちゃうのよね・・・」

ファルコ「早くマーカを消さないとな・・・」

ヘリは20分間国の空を回り、着陸する

「デイディー「ああ怖い怖い、早くこのミッション終わってよ……」

草むらの影で体を隠しているデイディーコング

その姿をヘリが発見した

ヘリ「デイディーコング、町エリアの草むらにいます……」

ハンター「!!!!」

3体のハンターがディディーを確保に向かう

ディディー「どうかクリアしてください・・・」

他人任せのディディー

ハンターの接近に気づかない・・・

ハンター「……!!!!」

1体のハンターに見つかった

ディディー「うわっハンター!!!!」

気づいたようだ……

ディディー「うわああ捕まりたくないよお!!!!」

泣きながら逃げるディディー

不幸にも向こうからもハンター・・・

ディディー「うわっこっちからも・・・」

ポンッ

ディディーコング確保

残り 20人

ディディー「いつの間にか囲まれてた・・・」

プルプルプル

ソニック「ヘリの通報によってディディーコング確保!!!」

ウルフ「ヘリの通報の被害か・・・」

メタナイト「むっ!! マーカーというのはあれか？」

大きくHと書かれたマーカーを発見したメタナイト

メタナイト「1人で持ち上げるのは無理だな・・・誰かを呼ぶか・・・」

プルプルプル

デデデ 「メタナイト、どうしたぞい？」

メタナイト 「陛下、マーカを発見しました、1人では持ち上げるのは無理なので協力していただきたい」

デデデ 「成程、よし力なら任せろぞい、場所はどこぞい？」

メタナイト「市場の近くの公園です」

デデデ「すぐに向かうぞい!!」

メタナイト「かたじけない・・・」

ブチッ

メタナイト「さて私は隠れて願うか、見つからないことを・・・」

アイク「あんなにいた人たちが誰もいなくなったな」

人々はスターキャッスル前に集まっている

アイク「見つかりやすくなっちゃまうな・・・」

その通りである

ファルコン「マーカードこにあるんだ？」

マーカーを探すファルコン

ヘリ「・・・・・・・・！！！！」

その姿をヘリがとらえた・・・

ヘリ「ファルコン、遊園地エリア、コーヒーカップ前にいます」

ハンター「!!!!!!」

3体のハンターが確保に向かう

ファルコン「ここには無いか・・・むっハンター!!!!!!」

ハンター「……………!!!!」

見つかった……

ファルコン「くっこんなところで捕まるかよ!!」

足の速さはソニックに継ぎ2番目に速いファルコン

ファルコン「うおおお!!!!」

ハンター「……?」

撒いたようだ・・

ファルコン「ハンターの気配は無かったし、たぶんへりの通報だな・
・」

ハンターの恐怖とへりの恐怖この2重の恐怖が逃走者に襲いかかる・
・

残り 20人

残り時間 95分

ミッション ヘリの着陸を阻止せよ 5-2

デデデ 「おい、メタナイト!!」

メタナイト 「陛下!!」

無事に合流出来たようだ

デデデ 「これを持ち上げればいいぞいか」

メタナイト「そうです」

デデデ「いくぞい!! せーの」

バンッ

マーカー 残り4個

デデデ「これでいいぞいね」

メタナイト「陛下、他のマーカーを探しに行きましよう」

マーカーを消すことに成功した2人

しかし不運にもその姿をヘリが発見した

ヘリ「メタナイト、デデデ、市場前公園にいます」

ハンター×3 「!!!!!!」

3体のハンターが確保に向かう

メタナイト「流石階下、力なら誰にも勝りますね」

デデデ「いやーそれほどでもないぞい!!」

ハンターの接近に気づかない・・・

ハンター「・・・!!!!!!」

1体のハンターに見つかった・・・

メタナイト「階下、ハンターです!!!!」

デデデ「逃げるぞい!!!!!!」

別々に逃げる2人

ハンターの標的は・・・

メタナイト「くっ私か・・・」

メタナイトだ・・・

メタナイト「追いつかれる!!」

ハンターとの差が迫ってくる

メタナイト「うおっ!!」

ポンッ

メタナイト 確保

残り 19人

デデデ「そんな!!こつちにもハンターぞい!!!!」

デデデの逃げる方にもう1体のハンター・・・

デデデ「いやぞい、いやぞい!!!!!!」

ポ
ン
ッ

デ
デ
デ
確
保

残
り
1
8
人

デ
デ
デ
「また牢獄ぞい・
・・」

牢
獄
に
逆
戻
り
だ
・
・
・

プルプルプル

マリオ「確保情報、ヘリの通報により、メタナイト、デデデ確保！
！！」

ファルコ「またヘリか・・・」

カービィ「そんなぁメタナイトと大王が・・・」

アイク「あつた!! マーカー!!!!」

もう1個のマーカーを見つけたアイク

アイク「これを裏にするわけだな、おりやつ!!」

バンッ

マーカー 残り3個

アイク「簡単だぜ」

以外にも力持ちだ・・・

その頃、

スパイ1「ナンバー2、もしかしたらだがまたあいつらがこの作戦の邪魔をするとかありませんよね」

スパイ2「確かにその確率はあるな・・・」

スパイ3「どうしやす?」

スパイ2「敵の中に俺たちの見方をしてくれる奴がいたらよいのだが・・・」

とあるモニター室・・・

????? 「ふっあいつら馬鹿なこと考えるよな」

????? 「ふーむ、敵の見方か・・・」

大きなモニターで逃走者の様子、そしてスパイの事を見ている怪しい人間

ミッションなどはここから送られている

????? 「面白い、作ってやるか、敵の見方〓裏切り者をな・・・」

プルプルプル

マリオ「通告!! 今から裏切り者を募集する!？」

マルス「裏切り者は逃走者を見つけ次第ハンターに通告することができる・・・」

ウルフ「通報した者が捕まった場合、1人につき10万円追加される」

ファルコ「裏切り者は携帯電話で本部に電話したまえ」

通告

今から裏切り者を募集する

裏切り者は逃走者を見つけ次第ハンターに通告することができる

通報した者が捕まった場合、1人につき10万円追加される

裏切り者は携帯電話で本部に電話したまえ

ピカチュウ「ええ!!裏切り者!!」

ゼルダ「ハンターにへりに裏切り者3重の恐怖ね・・・」

その時、

「?????」
「もしもし?????」です、裏切り者になります・・・」

本部「OK」

プルプルプル

マリオ「たった今、裏切り者が現れた！！！」

フォックス「だれがなったんだ？裏切り者」

ハンター、ヘリ、そして裏切り者、3重の恐怖が襲いかかる

残り 18人

残り時間 87分

マーカー 残り3個

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1330v/>

スマ・スマ逃走中

2011年11月21日07時13分発行